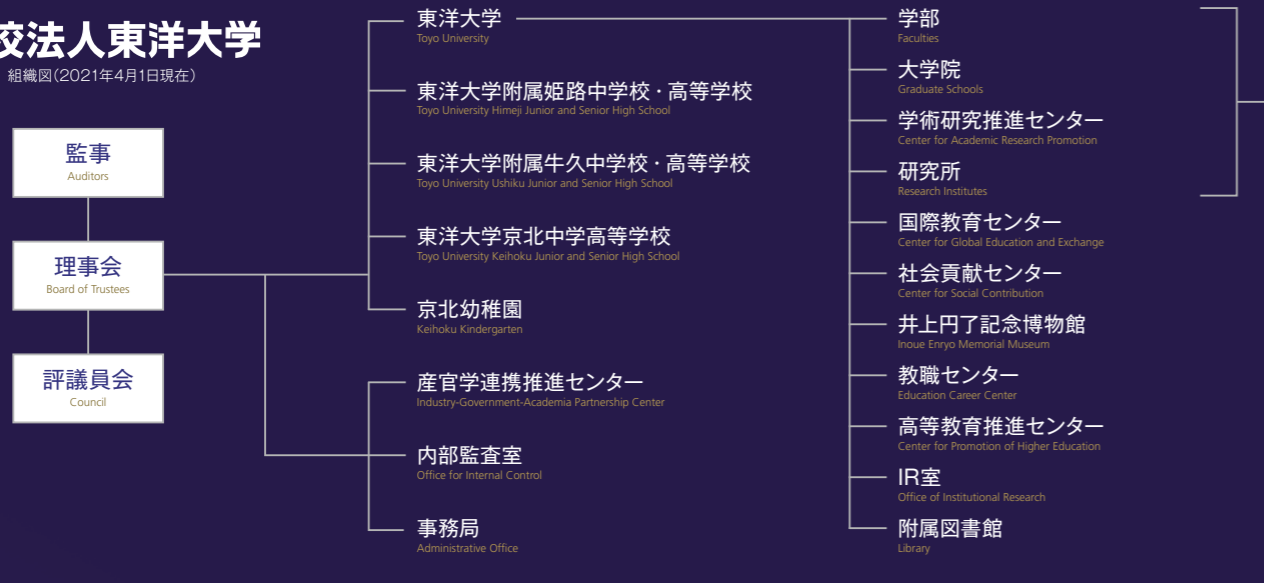


学校法人東洋大学

組織図(2021年4月1日現在)



学部

Faculties

文学部 Faculty of Letters

哲学科/東洋思想文化学科★/日本文学文化学科★/英米文学科/史学科/教育学科★/国際文化コミュニケーション学科

経済学部 Faculty of Economics

経済学科★/国際経済学科/総合政策学科

経営学部 Faculty of Business Administration

経営学科★/マーケティング学科/会計ファイナンス学科

法学部 Faculty of Law

法律学科★/企業法学科

社会学部 Faculty of Sociology

社会学科★/国際社会学科/社会福祉学科/メディアコミュニケーション学科/社会心理学科

国際学部 Faculty of Global and Regional Studies

グローバル・イノベーション学科/国際地域学科★

国際観光学部 Faculty of International Tourism Management

国際観光学科

情報連携学部 Faculty of Information Networking for Innovation and Design

情報連携学科

ライフデザイン学部 Faculty of Human Life Design

生活支援学科/健康スポーツ学科/人間環境デザイン学科

理工学部 Faculty of Science and Engineering

機械工学科/生体医工学科/電気電子情報工学科/応用化学科/都市環境デザイン学科/建築学科

総合情報学部 Faculty of Information Sciences and Arts

総合情報学科

生命科学部 Faculty of Life Sciences

生命科学科/応用生物科学科

食環境科学部 Faculty of Food and Nutritional Sciences

食環境科学科/健康栄養学科

大学院

Graduate Schools

文学研究科 Graduate School of Letters

哲学専攻/インド哲学仏教学専攻/日本文学文化専攻/中国哲学専攻/英文学専攻/史学専攻/教育学専攻/国際文化コミュニケーション専攻

社会学研究科 Graduate School of Sociology

社会学専攻/社会心理学専攻

法学研究科 Graduate School of Law

私法学専攻/公法学専攻

経営学研究科 Graduate School of Business Administration

経営学・マーケティング専攻/ビジネス・会計ファイナンス専攻★

理工学研究科 Graduate School of Science and Engineering

生体医工学専攻/応用化学専攻/機能システム専攻/電気電子情報専攻/都市環境デザイン専攻■/建築学専攻■/建築・都市デザイン専攻■

経済学研究科 Graduate School of Economics

経済学専攻/公民連携専攻★■

国際学研究科 Graduate School of Global and Regional Studies

グローバル・イノベーション学専攻■/国際地域学専攻

国際観光学研究科 Graduate School of International Tourism Management

国際観光学専攻

社会福祉学研究科 Graduate School of Social Welfare

社会福祉学専攻

生命科学研究科 Graduate School of Life Sciences

生命科学専攻

ライフデザイン学研究科 Graduate School of Human Life Design

生活支援学専攻■/健康スポーツ学専攻■/ヒューマンライフ学専攻■/人間環境デザイン専攻

学際・融合科学研究科 Graduate School of Interdisciplinary New Science

バイオ・ナノサイエンス融合専攻

総合情報学研究科 Graduate School of Information Sciences and Arts

総合情報学専攻

食環境科学研究科 Graduate School of Food and Nutritional Sciences

食環境科学専攻

情報連携学研究科 Graduate School of Information Networking for Innovation and Design

情報連携学専攻

■…修士・博士前期課程のみ設置

■…博士後期課程のみ設置

印なし…博士前期・博士後期課程

研究所

Research Institutes

人間科学総合研究所/現代社会総合研究所/東洋学研究所/アジア文化研究所/地域活性化研究所/工業技術研究所/ライフイノベーション研究所/バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター/アジアPPP研究所/井上円了哲学センター/グローバル・イノベーション学研究所/情報連携学術実業連携機構

大学院・学部併設センター

Research Institutes and Centers affiliated with Graduate Schools and Faculties

国際哲学研究センター/生体医工学研究センター/PPP研究センター/国際共生社会研究センター/福祉社会開発研究センター/計算力学研究センター/産学協同教育センター

★印は学部の場合は第2部・イブニングコースを設置していること、大学院の場合は主として夜間に授業を行う課程を示す

TOYO UNIVERSITY

東洋大学はいま 2021



<https://www.toyo.ac.jp/toyo2021/>

東洋大学はいま2021



創立 Founded

東洋大学は1887(明治20)年、哲学者 井上円了が創立した「私立哲学館」により、その歴史が始まりました。時代が江戸から明治へと移り、近代化が進み始めた日本において、円了は「哲学は新しい時代を生きる日本人にとって思考の根本になる」と考え、「哲学すること」の重要性を示しました。それは、いわゆる哲学者を養成することではなく、哲学を学ぶことにより、人々が主体的に生きることの重要性を説くものでした。

創立者 井上 円了 Founder Enryo Inoue



1858(安政5)年生まれ。20歳で設立直後の東京大学第1期生として予備門へ入学、23歳で文学部哲学科ただ一人の新入生となる。「諸学の基礎は哲学にあり」と確信し、大学を首席で卒業した2年後の1887(明治20)年、東洋大学の前身となる「私立哲学館」を創立。哲学を研究する傍ら「妖怪研究」にも励んだ。1919(大正8)年に中国大連での講演中に倒れ、61歳で逝去。

学部学科数 (2021年度) Number of Faculties and Departments

13 学部 **45** 学科
13 Faculties and 45 Departments

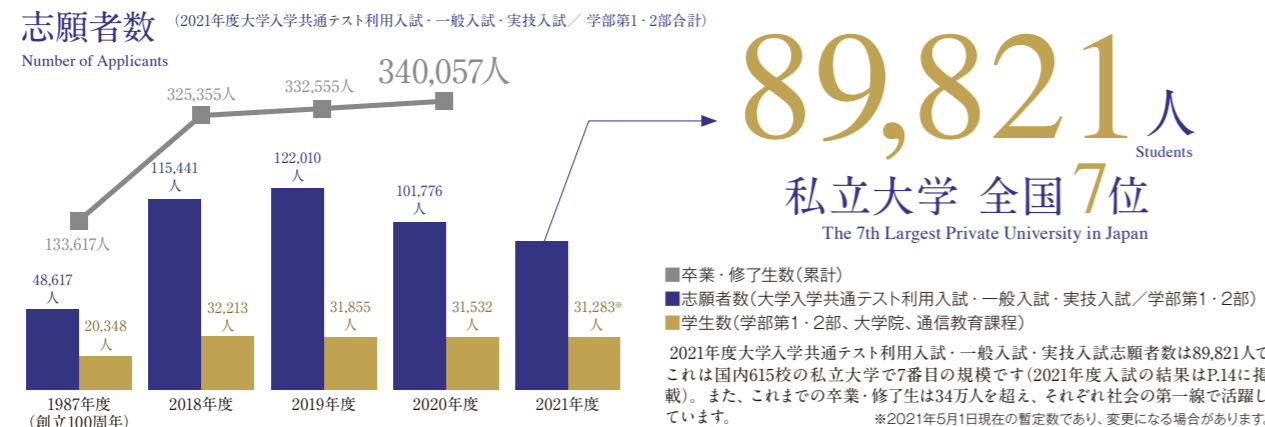
新制大学に移行した1949年の文学部設置以来、東洋大学は総合大学として13学部45学科を擁するまでに発展し、全ての学部で4年間一貫の同キャンパス教育体制を実現。また、大学院は現在、15研究科36専攻から成り立っています。

就職率 (2021年3月卒業生) Employment Rate

97.6%

朝日新聞出版「大学ランキング 2022」では、就職率 第15位(卒業生2,000人以上、2020年3月卒業生実績)。2021年3月卒業生(学部第1部)の就職率は97.6%と高い水準を維持しています。

卒業生数・志願者数・学生数の推移 Number of Alumni, Applicants and Students



海外との協定数 (2021年3月31日現在)

Overseas Agreements

大学間 Inter-university Agreement

37 国・地域 **227** 協定
Countries Agreements

部局間等 Inter-departmental Agreement

34 国・地域 **92** 協定
Countries Agreements

東洋大学は212大学・5コンソーシアム・6機関・3都市と大学レベルの協定を結んでいます。
*詳しい情報はP.17に掲載

THE世界大学ランキング日本版2021

Times Higher Education Japan University Rankings 2021

首都圏大規模大学 **教育充実度** 6位 **国際性** 11位
Engagement Ranked 6th Environment Ranked 11th

「THE 世界大学ランキング日本版 2021」において、私立の首都圏大規模大学における教育充実度で6位(全体27位)、国際性で11位(全体47位)、総合ランキングで14位(全体77位)となりました。
*私立大学、首都圏大規模大学[大学定員数 5,000人以上]

外部評価 External Evaluation

13年連続 **AA**
13 Years in a Row

東洋大学は、2021年1月に株式会社日本格付研究所(JCR)より、13年連続で長期発行体格付の「AA」(ダブルAフラット)、21段階の上から3番目の格付を取得。格付の見直しは「安定的」とされました。格付事由は、「学生獲得力が強いこと」「良好な収支構造が保たれていること」などが挙げられています。

大学独自の奨学金支給総額 (2020年度)

Total Amount of Our Proprietary Grant-type Scholarship Paid

13億 3,358 万円
1,333.58 Million Yen

東洋大学奨学金、東洋大学独立自活支援奨学金、東洋大学コロナ対策奨学金「RIBBON」での給付総額。

東洋大学 沿革 History

- 1887年** 井上円了が本郷区龍岡町の麟祥院内に私立哲学館(東洋大学の前身)を創立する
- 1897年** 小石川区原町に新校舎落成(現・白山キャンパス)
- 1899年** 私立京北尋常中学校*を開設
*現・東洋大学京北中学高等学校
- 1905年** 京北幼稚園を開設
- 1906年** 私立東洋大学と改称
- 1916年** 日本の私立大学で初めて女子の入学を許可
- 1920年** 「私立」の冠称が廃止され、東洋大学へ改称
- 1949年** 新制大学に移行、文学部を設置
- 1952年** 大学院を設置
- 1961年** 川越キャンパス(埼玉県)を開設
- 1963年** 東洋大学附属姫路高等学校(兵庫県)を開設
- 1964年** 東洋大学附属牛久高等学校(茨城県)を開設
- 1977年** 朝霞キャンパス(埼玉県)を開設
- 1997年** 板倉キャンパス(群馬県)を開設
- 2005年** 朝霞キャンパス(文・経済・経営・法・社会学部)の1・2年次を白山キャンパスに統合し、4年間一貫教育開始
- 2006年** 大手町サテライト(東京都)を開設
- 2011年** 総合スポーツセンター(東京都)完成
学校法人京北学園と法人合併し、京北中学校・高等学校、京北学園白山高等学校、京北幼稚園を併設校とする
- 2012年** 創立125周年を迎える
125周年記念館(8号館)にて記念式典を挙げる
- 2014年** 東洋大学附属姫路中学校(兵庫県)開設
文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(タイプB)」採択
- 2015年** 京北中学校・高等学校が東洋大学京北中学高等学校に校名変更し、男女共学の東洋大学附属校として東京都文京区白山に移転
東洋大学附属牛久中学校(茨城県)を開設
- 2017年** 赤羽台キャンパス(東京都)を開設
- 2021年** 赤羽台キャンパスに新校舎「WELLB HUB-2」が完成
ライフデザイン学部・ライフデザイン学研究科が赤羽台キャンパスに移転

理事長・学長あいさつ

Message from Chairman & President



理事長・学長の特別対談が
Webでご覧いただけます
You can also view this
data on our website.



学校法人東洋大学 理事長

安齋 隆

Takashi Anzai

Chairman,
Toyo University Incorporated Educational Institution

1941年生まれ。東北大学法学部卒業。日本銀行、(株)日本長期信用銀行(現・(株)新生銀行)頭取、(株)アイワイバンク銀行(現・(株)セブン銀行)社長などを経て、2009年12月学校法人東洋大学理事に就任し、2018年12月から現職。

100年に一度と言われるパンデミックによって、経済や社会構造、政治構造までもが大きく変わろうとしています。大学の在り方も変わりました。特に授業は、オンラインでの実施を余儀なくされ、新しい教育の形が求められました。平時に対面授業からオンライン授業に移行するとなれば、年単位の時間がかかったことでしょう。コロナ禍という特別な状況だったとはいえ、短期間で成し遂げられたのは、教職員一丸となった努力のたまものだと思っています。

学生たちはこのような状況のなかで、学修に励んでいます。彼らがいずれ社会の中核を担うときが来るのを今から楽しみにしています。学生はコロナ禍によって、入学・卒業式や海外留学の中止、キャンパス閉鎖、全面オンライン授業などを経験しています。いつかこの経験が人間を強くしたと言われる日が来ることを信じております。

本学の理念としての「東洋大学の心」の一つに、「他者のために自己を磨く」とあります。自分を磨くのは、人々のために働くことができるようになるためであり、そのことを自覚して学業に励むことが重要です。学生時代はそのような将来を深く考え、自分を磨くことのできる最大の機会ではないでしょうか。そのためには、大学もまた「他者のため」であらねばなりません。学校法人東洋大学では、「地球社会の明るい未来を拓く」を目標とした中期計画「TOYO GRAND DESIGN 2020-2024」を策定しました。教育、研究、社会貢献・社会連携のあらゆる面において、地球社会の未来に貢献するべく邁進してまいります。

学生には想像力たくましく、前向きに行動してほしいと願っています。その前向きさを引き出すのが大学の務めであり、そのための環境を整えることが学校法人東洋大学の経営の在り方だと思っています。

This pandemic is a once in hundred years event that is about to significantly change the economy, social structure, and even political structure. The way a university should have also changed. Classes, in particular, had to be conducted online and a new form of education was required. It would have taken years to shift from in-person classes on campus to online classes in normal times. Even though it was under unusual circumstances in the COVID-19 pandemic, we achieved that in such a short period of time. I appreciate that it was the result of the efforts of our faculty and staff members who have been working together.

Our students have never stopped learning in such a situation. I am looking forward to the days when our students will play a central role in our society. Students are experiencing the impacts of the COVID-19 pandemic, such as the cancellation of entrance and graduation ceremonies or study abroad programs, campus closures, and full-scale online classes. However, I believe that one day they will be able to say that this experience has made them stronger as a person.

The Heart of Toyo University is our philosophy of "improving oneself for the benefit of others." The reason for improving oneself is to be able to work for the benefit of others. It is the Heart of Toyo University to be aware of this, and to study accordingly with diligence. During school time, students have the greatest opportunity to think deeply about such a future and improve themselves. For the purpose, our university must also be for the benefit of others. Toyo University Incorporated Educational Institution has developed the "Toyo Grand Design 2020-2024," a medium-term plan with the goal of paving the way for a bright future for the global community. We are striving to contribute to the future of the global society in all aspects of education, research, social contribution and social collaboration.

I also hope that our students will be good at imagining and acting positively. It is our university's duty to draw out their positive attitudes, and I believe that the management of Toyo University Incorporated Educational Institution should be to design an environment for that purpose.

現在、世界中が新型コロナウイルス感染症の猛威に見舞われていますが、このような状況下においても学生に求められていることは大きく変わらないと考えています。それは本学の教育理念でもある「本質に迫って深く考える」ということです。社会にはありとあらゆる情報があふれているので、なぜこのようなことが起きているのか、なぜ世界はこれほどまで大きく揺れ動いているのかを深く考えてほしいと思っています。

本学は、デジタル技術を十分に活用し、学修者の視点に立った教育を実現するため、「東洋大学教育DX(デジタルトランスフォーメーション)推進基本計画」を策定し、同計画を基にした取り組みが、文部科学省の補助事業である「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択されました。

一方、国連で採択された国際目標であるSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた取り組みにも、積極的に貢献していきます。貧困やジェンダー平等、環境問題などの地球規模の社会課題には必ず多面性があるため、これからの社会で中核を担う学生たちは物の見方や考え方を多角的に学ぶ必要があります。大学教員はそれぞれの分野の専門家ですから、SDGsを切り口としてそれらを深く学ぶことができます。教育DXは主体的な学びを支え、SDGs教育は本質を見定める力を養う。これらは、急激に変化し正解のない事態に遭遇することも多い今の時代に必要なものだと考えています。

コロナ禍による困難は続きますが、東洋大学は今後も教職員一丸となって、日本はもちろん世界の人々のために、自己を磨き、大いに貢献する学生を育てる大学であり続けたいと思います。

Today, the world is experiencing great hardships due to COVID-19. However, even under these circumstances, I think what is required of students will not change considerably. That is to "think deeply in search of true essence," which is our university's educational philosophy. As our society is overflowing with all sorts of information, I would like our students to think deeply about what makes this occur and why the world has swayed to this extent.

We formulated the "Toyo University Basic Plan for the Promotion of DX in Education" in order to fully utilize digital technology and make possible student-centered education. Our initiative based on the basic plan was selected for a subsidized program by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, entitled "the Plan for the Advanced Education at Universities and Colleges of Technology Using Digital Technology."

At the same time, we are actively contributing to achieving the Sustainable Development Goals (SDGs), which are the international targets adopted by the United Nations. As global social issues such as poverty, gender equality, and environmental problems are always multifaceted, our students who will play a central role in the future society need to learn how to look and think about things from multiple perspectives. University instructors are experts in their respective fields, so students can use the SDGs as a starting point for learning about such issues in depth. Digital transformation in education supports the proactive learning of our students, and education on the SDGs develops their ability to discern the essence of issues. I believe that such education is required in these times, when we often encounter situations which are rapidly changing and provide no incontrovertible answers.

Despite the continuing difficulties caused by the COVID-19 pandemic, the faculty and staff members of Toyo University will continue working together to be the university that educates students who can improve themselves and contribute to people in Japan and around the world.



東洋大学 学長

矢口 悦子

Etsuko Yaguchi

President, Toyo University

1956年生まれ。お茶の水女子大学大学院人間文化研究科(博士課程)単位取得退学。博士(人文科学)。専門分野は社会教育学・生涯学習論。山脇学園短期大学教授などを経て、2003年4月から東洋大学文学部教授。文学部長などを歴任し、2020年4月から現職。

中期計画に基づき 学部・学科を再編

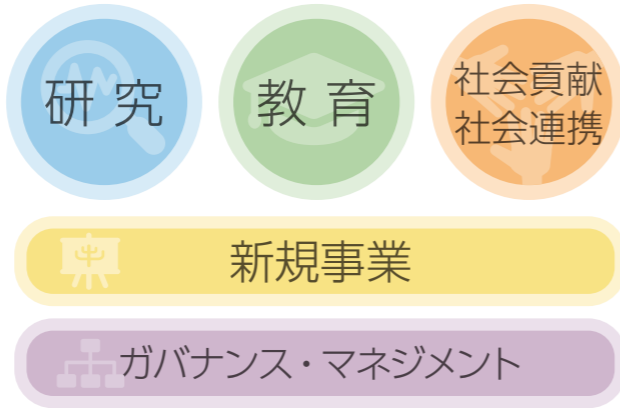


学校法人東洋大学は、2020年度から2024年度までの5年間の活動の指針となる中期計画「TOYO GRAND DESIGN 2020-2024」を策定。この中期計画に基づくキャンパスの整備や学部・学科の再編を行います。

中期計画「TOYO GRAND DESIGN 2020-2024」

本学の理念の一つ「他者のために自己を磨く」に基づき策定した「TOYO GRAND DESIGN 2020-2024」では、「地球社会の明るい未来を拓く」をキーコンセプトに「研究」「教育」「社会貢献・社会連携」と、それらを実現するための「新規事業」「ガバナンス・マネジメント」の5つの領域で今後の目標を定めました。

各領域の目的として、研究は「新しい価値を創造し明るい未来を描く」、教育は「明るい未来を担う人材を育てる」、社会貢献・社会連携は「より多くの人に明るい未来を」と設定。それぞれが円了的理念である「主体的に社会の課題に取り組む」「自分の哲学を持つ」「活動の中で奮闘する」を踏まえたものです。これらを実現する「新規事業」「ガバナンス・マネジメント」によって、明るい未来の実現に貢献していくことを目指します。



2021年度～2024年度のキャンパス移転、学部・学科の再編について

2021年4月

ライフデザイン学部・研究科を移転

朝霞キャンパスから赤羽台キャンパスへ移転

- ・ライフデザイン学部（入学定員：556名）
- ・ライフデザイン学研究科（同：修士・博士前期課程30名 博士後期課程9名）

社会学部 国際社会学科を開設

社会・文化・地域に関する専門知識に基づいて、多文化共生と多様性の推進・活用（ダイバーシティ・マネジメント）を実践的に担うことのできる「地球市民（グローバル・シティズン）」を育成します。

- ・社会学部 国際社会学科（同：150名）

2023年4月

赤羽台キャンパスに新たな2学部5学科を開設

ソフト、ハードの両面から「福祉」「健康」「スポーツ科学」と向き合う一大拠点として、少子高齢化や健康問題といった社会課題の解決に努めています。

赤羽台キャンパスに開設

- ・福祉社会デザイン学部 社会福祉学科（仮称・入学定員：216名）^{*1}
 - 子ども支援学科（仮称・同：100名）^{*1}
 - 人間環境デザイン学科（仮称・同：160名）^{*1}
- ・健康スポーツ科学部 健康スポーツ科学科（仮称・同：230名）^{*2}
 - 先端栄養科学科（仮称・同：100名）^{*2}

白山キャンパスから赤羽台キャンパスへ移転

- ・社会学部 第1部社会福祉学科（同：150名）
- ・社会福祉学研究科（同：博士前期課程20名、博士後期課程5名）

^{*1} 2021年6月現在設置構想中。学部・学科名称は仮称であり、計画内容は変更となる可能性があります。開設にともない社会学部 第1部 社会福祉学科/ライフデザイン学部 生活支援学科 生活支援学専攻、子ども支援学専攻/ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科は2023年度に募集を停止します。

^{*2} 2021年6月現在設置構想中。学部・学科名称は仮称であり、計画内容は変更となる可能性があります。開設にともないライフデザイン学部 健康スポーツ科学科/食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻は2023年度に募集を停止します。

2024年4月

生命科学部・食環境科学部を改組・移転

キャンパスが分散している生命分野に関する学部・学科の統合や連携強化等を目的にキャンパスの再編を計画しています。

板倉キャンパスから朝霞キャンパスへ移転

- ・生命科学部 生命科学科（入学定員：113名）
 - 応用生物科学科（同：113名）
- ・食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻（同：70名）^{*5}
 - 健康栄養学科（同：100名）
- ・生命科学研究科（同：博士前期課程 20名 博士後期課程 4名）
- ・食環境科学学研究科（同：博士前期課程 10名 博士後期課程 2名）

川越キャンパスから朝霞キャンパスへ移転

- ・理工学部 生体医工学科（同：113名）
- ・理工学研究科 生体医工学専攻（同：博士前期課程 18名 博士後期課程 3名）

朝霞キャンパスに開設

- ・生命科学部 生体医工学科（仮称・同：113名）^{*3}
 - 生物資源学科（仮称・同：113名）^{*3}
- ・食環境科学部 フードデータサイエンス学科（仮称・同：113名）^{*4}

板倉キャンパスから赤羽台キャンパスへ移転

- ・食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻（同：50名）

^{*3} 2021年6月現在設置構想中。学部・学科名称は仮称であり、計画内容は変更となる可能性があります。開設にともない理工学部 生体医工学科/生命科学部 応用生物科学科は2024年度に募集を停止します。

^{*4} 2021年6月現在設置構想中。学部・学科名称は仮称であり、計画内容は変更となる可能性があります。

^{*5} 食環境科学部食環境科学科フードサイエンス専攻は、2024年度にフードサイエンス専攻としての募集を停止します。（食環境科学科は、引き続き募集します。）

赤羽台キャンパスに新校舎完成

新時代の「福祉」「デザイン」「健康」「スポーツ科学」の拠点となる地下1階・地上9階建ての新校舎「WELLB HUB-2」が完成しました。2021年4月よりライフデザイン学部とライフデザイン学研究科の教育研究拠点となっています。WELLBは「well-being」に由来し、心身ともに健康で健やかな状態の実現に向けた教育・研究の拠点という意味を込めています。2017年に竣工した「INIAD HUB-1」と同じく、隈研吾建築都市設計事務所が建築設計を担当。「つなぐ」をテーマに、地域社会との連携を図りながら、社会問題の解決や明るい未来の創造を目指します。



赤羽台キャンパスの今後の整備計画



国際学生寮 AI-House HUB-4

バス提供：株式会社岩本建築事務所



体育館棟 HELSPPO HUB-3

©浅古陽介

2022年4月には学生約300人を受け入れ可能な国際学生寮「AI-House HUB-4」が完成予定です。AIは「会い」「合い」「間」「藍」「愛」「哀」など、さまざまな意味を含んでいます。入居者の約半数は外国人留学生となる予定で、日本に居ながら豊かな国際感覚を養う一大拠点となります。

2023年4月には体育館棟「HELSPPO HUB-3」が完成予定です。WELLB HUB-2とガラス張りのブリッジでつながる予定です。HELSPPO HUB-3はスポーツ施設や各種実習室、教室、研究室等を備えた地下1階、地上6階の施設となります。その他、図書館も2023年4月に完成予定です。

^{*}学部名称は仮称であり、計画は変更となる可能性があります。



コロナ禍における 東洋大学の対応



詳細はWebで
ご覧いただけます
You can also view this
data on our website.

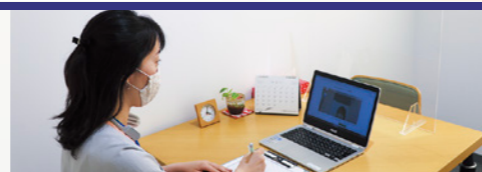
2020年初頭から瞬く間にパンデミックと言われる世界的な流行となった新型コロナウイルス感染症。その脅威と影響は多岐に及んでいます。本学では各学部長や事務局部長等をメンバーとする「東洋大学新型コロナウイルス感染症対策委員会」を組織し、感染防止対策を徹底することを基本方針とし、学生の学修機会を確保することはもちろん、コロナ禍で抱える悩みや不安に寄り添った対応を講じるために、教職協働でさまざまな取り組みを行っています。

01 | 学びを止めない ～学修の機会の確保

初めての緊急事態宣言の発出により、2020年度の春学期は全ての授業やガイダンス等をオンラインに切り替えて実施しました。非対面授業の基盤となる情報環境整備は一定程度進められていましたが、より円滑に進めるため、学内にサポートデスクを開設し、教員への授業運営支援を行いました。また、通信環境が十分整っていない学生のためにPC教室を開放したほか、図書館では郵送対応による資料貸出及び文献複写の対応を行いました。9月中旬から開始した秋学期は、キャンパスに入構できる人数を管理しながら、約半数程度の科目において対面授業を再開、オンライン授業と交えて実施しました。対面授業では同時にオンライン配信する「ハイフレックス授業」とすることで、来日できない留学生や諸事情により対面で授業を受けられない学生にも配慮しました。



02 | 誰一人取り残さない ～学生の悩みや不安に寄り添った対応



- ①特別修学支援金の緊急給付
2020年6月、オンライン授業実施に伴う学習環境の整備に必要な費用として、学部生及び大学院生(通学課程のみ)を対象に一律5万円、総額約15億円の特別修学支援金を給付しました。
- ②特別奨学金「RIBBON」の創設
コロナ禍による家計急変で経済的に困窮している学生を支援するため、校友会(卒業生)・雨水会(保証人)・役員・教職員等からの寄付を原資として、学生一人あたり10万円～25万円の奨学金の給付を実施。2021年4月現在、908名(給付総額約1億8千万円)に給付し、2021年度も継続しています。
- ③食料品支援プロジェクト「Hands to Hands」の実施
本学関係者(校友会[卒業生]、雨水会[保証人]、教職員、学生、大学生協等)から食料品等の寄贈を募り、コロナ禍で不安を抱える在学学生を支援し、学業を継続する環境や意欲を支えることを目的とした活動です。2020年度は2回開催、米類、乾麺類、飲料などを多数ご寄付いただき、合計464名の学生に配布しました。この取り組みは2021年度も継続しています。
- ④各種相談窓口の開設
ラーニングサポートセンター、教職支援室、学生サポート室/相談室、国際教育センター等では相談窓口を開設し、オンラインなどを活用しながら、学生の悩みや不安に寄り添った対応を行いました。

03 | 正しく恐れる ～感染防止策の徹底



- ①健康管理
各キャンパスへの入構は原則として学生・教職員・本学教育研究従事者に限定しました。また、入口ではサーモグラフィによる検温を行う環境を整備しました。マスクの着用・手洗いの励行・日頃の健康管理について掲示やアナウンスをしています。体調に不安のある学生等の健康管理も独自の方法で継続しています。
- ②対面授業実施
対面授業の実施にあたっては、3密回避のため、キャンパスごとに入構者の総数を管理しました。例えば、約2万人が就学する白山キャンパスでは、対面での授業の実施日・実施回数を学部単位としたローテーション制にするなどの措置を講じました。教室では、3人掛けの座席は1名のみ利用とするなど、着席時に前後が重ならないようにしました。また、着席可能な座席にQRコードを貼付し、学生は着席時にこれを読み取ることで万が一陽性者が出た場合でも学生のトレーサビリティを確保し、万が一陽性者が出た場合のキャンパス内での感染拡大防止に努めました。
- ③行動指針・ガイドラインの策定
市中での感染防止対応策を判断基準とした、本学の学生・教職員の行動状況(教育活動、課外活動、研究活動等)を6つのレベルに分けて明示した「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東洋大学行動指針」を策定し、Webサイト等で公表しています。また、教職員に向けてコロナ禍における授業運営や課外活動等が円滑に行えるよう、さまざまなガイドラインを策定しました。

教育 Education

自己の哲学を磨き、物事の本質を理解する人材の育成

グローバル化の進展によって多様な価値観が混在し、急速に変化していく現代社会。時代や環境の変化に流されることなく物事の本質を捉え、未来を切り拓く力を持った人材を育成します。

Developing Human Resources Who Can Cultivate Their Own Philosophy and Understand the Essence of Things

Progress in globalization has diversified our contemporary society in terms of values, and put it in rapid flux. Toyo University will foster human resources who have the ability to grasp the essence of things and open up a brighter future, rather than those who are passively affected by social trends and situational changes.



詳細はWebでご覧いただけます
For further details,
please visit our website.



学生の成長を約束するために「質保証フォーラム」を開催

2020年12月、「学生一人ひとりの成長を約束する」ことをメインテーマに、内部質保証を考える機会として、「質保証フォーラム」を開催しました。矢口学長による、大学の内部質保証体制や、DX(デジタルトランスフォーメーション)活用に関する講演の後、学部・研究科の教育、学全学的な委員会運営、大学運営・財務に関わるテーマについて、本学教職員との意見交換会を行いました。

To Ensure the Growth of Every Student The Quality Assurance Forum

In December 2020, the Quality Assurance Forum was held as an opportunity to consider internal quality assurance, with the main theme of "ensuring the growth of every student." After a lecture by President Etsuko Yaguchi on the University's internal quality assurance system and the use of DX (Digital Transformation), there was an exchange of opinions with the faculty and staff members on topics related to Faculties and Graduate Schools, university-wide committee management, and university administration and finance.

THE世界大学ランキングで教育充実度や国際性、SDGsが高評価

2021年3月に発表された「THE世界大学ランキング日本版2021」では、私立の首都圏大規模大学(※)における「教育充実度」の項目で6位(全体27位)、「国際性」で11位(全体47位)と特に高く評価されました。また、SDGsの枠組みで大学の「社会貢献度」を可視化する「THE大学インパクトランキング2021」(2021年4月発表)では、国内17位タイという結果でした。

※首都圏大規模大学[大学定員数5,000人以上]

In THE World University Rankings Highly Evaluated in Educational Enrichment, Internationality, and SDGs

Toyo University received a high evaluation in the THE World University Rankings (Japan University Rankings) 2021 that were released in March 2021. Among large-scale private universities in the Tokyo metropolitan area,* the University ranked sixth (27th overall) in the educational enrichment and 11th (47th overall) in the internationality indicators. In addition, the University was tied for 17th in Japan in the THE University Impact Rankings 2021 (released in April 2021), which showed the degree of social contribution of each university within the framework of the SDGs.

*Large-scale universities in the Tokyo metropolitan area (Universities with a capacity of 5,000 students or more)

スーパーグローバル大学創成支援の第2回中間評価で「A」評価を獲得

文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」の第2回中間評価が行われ、東洋大学は前回に引き続き、「A」評価を得ました。評価のポイントとして、2017年度に国際化を牽引する3学部5学科を開設したこと、TOEIC730点以上を達成した学生数が目標値を超えたこと及び海外各地での留学フェアや高校訪問の成果による渡日前入試への出願者増などが挙げられました。

Received an A Rating in the Second Interim Evaluation of the Top Global University Project

The second interim evaluation of the Top Global University Project initiated by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology was held, and Toyo University received an A rating as in the previous evaluation. The University was recognized for the establishment of five Departments within three Faculties in AY 2017 that promote internationalization, exceeding the target for the number of students who have achieved 730 points or higher on the TOEIC test, an increase in the number of applicants for pre-arrival entrance examinations thanks to study abroad fairs and high school visits at various overseas areas, and more.

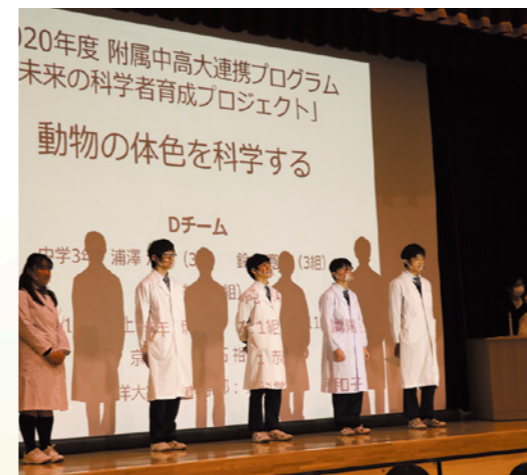


スポーツを通じた人材育成を推進 世界の舞台やプロで活躍する東洋大学のアスリートたち

東洋大学では「スポーツを『哲学』し、人と社会と世界をむすぶ」を理念とした「TOYO SPORTS VISION」を掲げ、スポーツを通じた人材育成や社会貢献活動に取り組んでいます。コロナ禍で試行錯誤しながらも、在学生・卒業生の東京五輪代表内定をはじめ、プロ野球チームやプロサッカークラブとの契約など、多くの選手が活躍しました。

Promoting the Development of Human Resources through Sports Toyo University's Student Athletes Performing Brilliantly on Global and Professional Stages

Toyo University works on the development of human resources and social contribution activities through sports in pursuit of the Toyo Sports Vision with the key principle of "Exploring sports from a philosophical perspective to unite people, society, and the world." Amid the restrictions on normal activities during the pandemic caused by COVID-19 and through trial and error, many of our athletes have performed brilliantly. We have current students and graduates who unofficially qualified to represent Japan in the Olympic and Paralympic Games in Tokyo, and others who have signed contracts with professional baseball or football teams.



総合学園として中高大連携による教育を展開

学校法人東洋大学は東洋大学を中核とし、3つの中学校・高等学校と幼稚園を設置する総合学園です。変化の激しい時代のなかで自身の哲学を持ち、明るい未来を担える人材を育成するため、「幼中高一貫教育」の推進を中期計画に定めています。中高大連携として、2020年度に第2回目となる課題発見型実験講座「未来の科学者育成プロジェクト」を実施。科学的に探究する学習活動を通して、「主体的で対話的な深い学び」を実現しています。

As a Comprehensive School Developing Education through Collaboration among Junior and Senior High Schools and University

Toyo University Incorporated Educational Institution is a comprehensive school with Toyo University as its core and three junior and senior high schools as well as one kindergarten. In order to develop human resources who have their own philosophies and are able to create a bright future in these rapidly changing times, we include the promotion of "integrated education for kindergarten, junior and senior high schools and the University" in our medium-term plan. As a collaboration project among junior and senior high schools and the University, we conducted the second Future Scientist Project, an experiment course for discovering issues, in AY 2020. We make independent, interactive, and in-depth learning possible through scientific exploration activities.

総合順位	総合スコア	教育リソース	教育充実度	教育成果	国際性
77	49.5	-	77.7 (27位)	32.6	71.5 (47位)

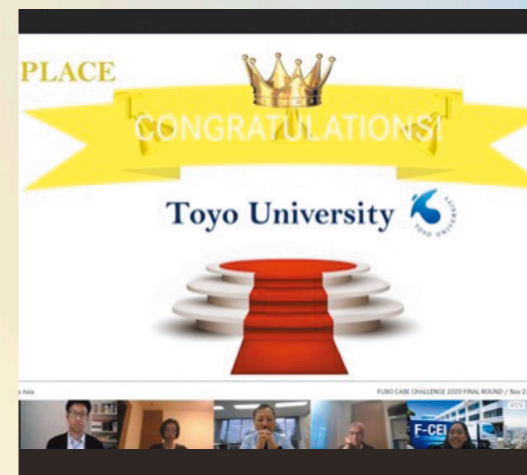


文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択 DXで教育の質を高める

2021年1月に「東洋大学教育DX(デジタルトランスフォーメーション)推進基本計画」を策定しました。また、同計画を基にした取り組みである、「学生一人ひとりの成長を約束する学修者本位の教育の実現」~"3万人のLearning Journey"の羅針盤~が、文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択されました。今後、デジタルを十分に活用し、学修者の視点に立った教育の実現を目指してまいります。

Adopted for the "Plan for the Advanced Education at Universities and Colleges of Technology Using Digital Technology" designed by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. Improving Quality of Education through Digital Transformation.

Toyo University formulated the "Toyo University Basic Plan for Promoting Digital Transformation in Education" in January 2021. "Design student-centered education to ensure the growth of each and every student: A compass for Learning Journeys for 30,000 students" is an initiative based on the above basic plan. It was adopted for the Plan for the Advanced Education at Universities and Colleges of Technology Using Digital Technology designed by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. Toyo University will continue to make full use of digital technology to design education from learners' perspective.



大学で学んだ「知」で社会に貢献 主体的に活動する学生たちが表彰

学部・研究科での学びを生かして主体的に活動する学生たちが、各分野のコンテストなどで優れた実績を残し、表彰されています。国土交通省が主催する旅行企画コンテストにおいて、国際観光学部の学生がインバウンド向けの東北地方のアドベンチャートラベルを提案したり、トラック・バスのメーカーが直面する問題に対して情報連携学部と国際学部の学生がプロジェクトを提案したりするなど、より良い社会を創り出す担い手として本学で学んだ「知」を生かしています。

Contributing to Society by Leveraging the Knowledge Acquired at the University Students Work Proactively and Receive Awards

Our students who have been working proactively while making use of what they have learned at their faculties and Graduate Schools have achieved outstanding results and received awards in contests in their respective fields. Students of the Faculty of International Tourism Management proposed adventure travel in the Tohoku region for inbound travelers in a travel planning contest that was conducted by the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Meanwhile, students of the Faculty of Information Networking for Innovation and Design and the Faculty of Global and Regional Studies proposed a project to address the issues faced by a truck and bus manufacturer. These prove that they are leveraging the knowledge gained through their learning as leaders in creating a better society.

研究 Research

文理にわたる多様な研究を推進し、さまざまな社会の課題解決に寄与

「学術・研究」機能を継続的に発展させ、各分野の基礎研究から、産官学連携による応用研究まで幅広く推進。有用な研究成果を社会へ還元していきます。

Promoting Diverse Research Endeavors in the Humanities and Sciences to Contribute to Solutions for Various Social Issues

Toyo University continuously enhances its academic research functions, and promotes research endeavors widely ranging from basic research in each field to applied research through collaboration between industry, government and academia. The University is ready to impart useful research achievements to society.



詳細はWebでご覧いただけます
For further details,
please visit our website.



SDGsや産官学連携など 主体的に社会課題に取り組む研究の発信を強化

東洋大学は、新しい価値の創造により地球社会の明るい未来をデザインする研究に取り組んでいます。2020年度は、その研究成果を社会に向けてより広く発信するため、SDGsに関するWebサイトの開設や、研究・産官学連携活動を紹介するWebサイトをリニューアルしました。13学部15研究科を有する総合大学の各分野における最新の研究などを紹介しています。

SDGs and Industry-Government-Academia Collaboration Strengthening the Distribution of Research that Proactively Addresses Social Issues

Toyo University works on research to design a brighter future for the global society through the creation of new values. With the aim of distributing the research results more widely to society, in AY 2020, we launched our website on SDGs and renewed our website to introduce our research and industry-government-academia collaboration activities. The website introduces the latest research in each field of the comprehensive university consisting of 13 Faculties and 15 Graduate Schools.



「東洋大学重点研究推進プログラム」で 先端的かつ独創的な研究を推進

複雑化した現代社会の課題に取り組むためには、多分野の研究者がチームとなって課題に取り組むことが不可欠です。学内公募型の研究助成制度「東洋大学重点研究推進プログラム」を創設し、地球レベルの課題解決に貢献し、大学のブランドとなり得る研究活動を支援しています。2021年度は7つの研究プロジェクトが進んでいます。

Promoting Advanced and Creative Research through Toyo University Top Priority Research Program

In order to address issues in today's increasingly complex society, it is essential that researchers from multiple fields work together as a team. We established Toyo University Top Priority Research Program, a research grant program that invited university-wide applications and supported research activities that could contribute to solving global-level issues and that can become the University's brand. A total of seven research projects are in progress in AY 2021.



学校法人東洋大学 理事長 安齋隆
紀の川市 市長 中村慎司氏
株式会社和環 代表取締役社長 土屋典子氏

産・官・学で地域産業の創出を目指す 柑橘類の果皮で熱中症対策商品の開発

学校法人東洋大学では中期計画に基づき、産官学連携の活性化に積極的に取り組んでいます。生体医工学研究センターでは、柑橘類の果皮に含まれる成分の有効活用について研究を進めており、2021年2月9日に全国有数の果樹産地である和歌山県紀の川市と包括連携協定を、3月9日には紀の川市および株式会社和環と「地域産業創出に向けた連携協定」を締結。柑橘類の果皮を使用した熱中症対策商品の開発による地域産業の創出を目指します。

Aiming to Create Local Industries through Industry-Government-Academia Collaboration Developing Anti-Heat Stroke Products with Citrus Peels

Toyo University Incorporated Educational Institution Incorporated Educational Institution is actively working to stimulate industry-government-academia partnership based on its medium-term plan. The Research Center for Biomedical Engineering promotes research on the effective use of ingredients contained in a variety of fruits and vegetables citrus peels. On February 9, 2021, Toyo University Incorporated Educational Institution Incorporated Educational Institution concluded a comprehensive partnership agreement with Kinokawa-shi, Wakayama Prefecture, a leading fruit producing area in Japan. Then on March 9, 2021, a "Partnership Agreement for the Creation of Local Industries" was concluded with Kinokawa-shi and Wakan Corporation. We aim to create local industries through the development of anti-heat stroke products by using citrus peels.

社会連携 Social Cooperation

教育・研究機関として社会と連携し、開かれた大学へ

創立者の精神を継承した「社会に開かれた大学」として、教育・研究の知、学生の力、高度な施設などを活用し、「社会貢献」と「地域連携」を推進しています。

Collaborating with Stakeholders as an Educational and Research Institution to Become a University Open to Society

As a "university open to society" that cherishes the spirit of its founder, Toyo University promotes social contribution and collaboration with local communities, taking advantage of its strengths, including increased knowledge through educational and research activities, the power of its students, and its state-of-the-art facilities.



詳細はWebでご覧いただけます
For further details,
please visit our website.



東日本大震災から10年 東洋大学の「知」による被災地への貢献

2011年3月11日に発生した東日本大震災。震災発生後、東洋大学では教育・研究機関として蓄えた「知」による貢献を行うべく、東日本大震災復興問題対策チームを結成。各分野の専門教員が12のグループで多角的に支援に携わる活動を行いました。震災発生から10年の節目となる2021年には、「震災、10年～next decade for sustainable society～」をテーマに、シンポジウムを中心に震災を振り返る企画を実施しました。

Ten Years after the Great East Japan Earthquake Contributions to the Affected Areas through the University's Knowledge.

The Great East Japan Earthquake struck on March 11, 2011. After the earthquake, the University formed a Task Force to address Great East Japan Earthquake Reconstruction Issues in order to make a contribution through the knowledge that we had accumulated as an educational and research institution. Our Faculty members specializing in various fields worked in 12 groups to provide multidisciplinary support. In 2021, the tenth anniversary of the earthquake, we held a symposium and other events to reflect on the earthquake on the theme of "Ten years after the Earthquake: Next Decade for Sustainable Society."



学生や教職員による 社会貢献・地域活性化活動を支援

社会貢献センターでは、東洋大学の教育理念「主体的に社会の課題に取り組む」人材の育成を目的に、学生や教員の社会貢献活動や地域課題解決・地域おこしなどの活動に対して支援や表彰を行っています。2020年度は社会貢献活動で個人1名・団体3件を表彰し、学生団体による社会貢献活動等奨励プロジェクト助成では2件が採択。学生と教職員が共同して進める地域活性化活動支援事業は7件が活動しました。

Supporting Social Contribution and Regional Revitalization Activities by Our Students and Faculty Members

With the aim of fostering human resources who can proactively address social issues, in line with the University's educational principles, the Center for Social Contribution provides support and presents awards to students and faculty members engaged in social contribution, local problem-solving and community revitalization activities. In AY 2020, one individual and three groups were awarded for their social contribution activities and two projects were selected for a grant for encouraging projects such as social contribution activities by student groups. As projects supporting regional revitalization activities conducted in collaboration between our students and faculty members, seven projects were active.



集合写真右(本学経営学部教授・産官学連携推進センター副センター長 山本聡)

地域とともに企業の未来を考える オンラインシンポジウムを開催

2020年12月17日に東洋大学と東京東信用金庫の共催で、東京都が後援するオンラインシンポジウム「Tokyoイーストの「元気」と地域中小企業の挑戦」を開催しました。東洋大学と産学連携の協定を結んでいる東京東信用金庫が立地する東京都東部地域「Tokyoイースト」の産業振興に貢献するべく、中小企業経営に関する研究者である山本聡教授(経営学部)をコーディネーターとし、地域の中小企業経営者とコロナ禍での事業継続について議論を交わしました。

Held an Online Symposium to Explore the Future of Companies with Locals

On December 17, 2020, the University and The Tokyo Higashi Shinkin Bank jointly held "The Vitality of East Tokyo and Challenges of Local SMEs," an online symposium sponsored by the Tokyo Metropolitan Government. With the aim of contributing to the industrial promotion of East Tokyo, the region which is home to The Tokyo Higashi Shinkin Bank, which has concluded an industry-academic collaboration agreement with the University, Professor Satoshi Yamamoto (Faculty of Business Administration), a researcher on business management of small and medium-sized enterprises (SMEs) coordinated the symposium. In the panel discussion, CEOs of local SMEs discussed the difficulty of business continuation during the COVID-19 pandemic.

在籍学生数 (2021年5月1日現在暫定数)

学部 (第1部)			
学部	男性	女性	合計
文学部	1,617	1,903	3,520
経済学部	1,818	726	2,544
経営学部	1,814	1,029	2,843
法学部	1,358	752	2,110
社会学部	1,273	1,832	3,105
理工学部	2,821	528	3,349
国際地域学部 ^{※1}	21	3	24
国際学部	615	97	1,590
国際観光学部	431	1,049	1,480
生命科学部	598	293	891
ライフデザイン学部	918	1,359	2,277
総合情報学部	846	248	1,094
食環境科学部	339	523	862
情報連携学部	1,309	330	1,639
合計	15,778	11,550	27,328

※1 2017年4月、国際地域学部を国際学部および国際観光学部に改組

学部 (第2部)			
学部	男性	女性	合計
文学部	291	198	489
経済学部	537	102	639
経営学部	317	130	447
法学部	396	110	506
社会学部	421	274	695
合計	1,962	814	2,776

通信教育課程

	男性	女性	合計
合計	97	168	265

専任教員数 (2021年5月1日現在)

学部	専任教員数						
	教授	准教授	講師	助教	小計	助手	合計
文学部	60	19	5	7	91	0	91
経済学部	37	20	7	4	68	0	68
経営学部	31	23	11	3	68	0	68
法学部	36	12	6	3	57	0	57
社会学部	46	19	8	7	80	0	80
国際学部	23	12	4	3	42	0	42
国際観光学部	18	8	9	0	35	0	35
白山キャンパス合計	251	113	50	27	441	0	441

学部	専任教員数						
	教授	准教授	講師	助教	小計	助手	合計
理工学部	56	26	2	3	87	0	87
総合情報学部	19	7	2	5	33	0	33
川越キャンパス合計	75	33	4	8	120	0	120

附属学校等教員数

学校名	教諭	助教諭	講師	助手	合計
附属姫路中学校	12	0	0	0	12
附属姫路高等学校	67	0	0	0	67
附属牛久中学校	13	0	1	0	14
附属牛久高等学校	76	1	2	0	79

事務職員数 (2021年5月1日現在)

身分	職員数
参事	15
副参事	18
主事	57
主事補	67
書記	249
事務職員	13
専任職員等小計	419
常勤嘱託	92
特別嘱託	17
嘱託小計	109
合計	528

附属学校等

学校名	参事	副参事	主事	主事補	書記	事務職員	常勤嘱託	特別嘱託	職員合計
附属姫路中学校・高等学校事務室	0	0	0	0	4	0	8	0	12
附属牛久中学校・高等学校事務室	0	0	1	0	4	0	1	0	6
京北事務室	0	0	1	2	3	0	2	1	9
合計	0	0	2	2	11	0	11	1	27

大学院

研究科	男性	女性	合計
文学研究科	64	49	113
社会学研究科	24	42	66
法学研究科	17	9	26
経営学研究科	64	21	85
工学研究科 ^{※2}	0	0	0
理工学研究科	146	37	183
経済学研究科	49	20	69
国際学研究科	32	15	47
国際観光学研究科	15	24	39
国際地域学研究科 ^{※3}	6	1	7
生命科学研究科	39	17	56
社会福祉学研究科	18	18	36
ライフデザイン学研究科	36	26	62
福祉社会デザイン研究科 ^{※4}	15	11	26
学際・融合科学研究科	9	6	15
総合情報学研究科	23	23	46
食環境科学研究科	10	12	22
情報連携学研究科	14	2	16
合計	581	333	914

※2 2014年4月、工学研究科を理工学研究科に改組
 ※3 2018年4月、国際地域学研究科を国際学研究科および国際観光学研究科に改組
 ※4 2018年4月、福祉社会デザイン研究科を社会福祉学研究科、ライフデザイン学研究科および社会学研究科福祉社会システム専攻に改組

附属学校等

学校名	男性	女性	合計
附属姫路高等学校	703	315	1,018
附属牛久高等学校	890	834	1,724
東洋大学京北高等学校	487	472	959
高等学校合計	2,080	1,621	3,701
附属姫路中学校	115	80	195
附属牛久中学校	89	110	199
東洋大学京北中学校	181	190	371
中学校合計	385	380	765
京北幼稚園	51	46	97

キャンパス別学生数 (学部第1部・第2部、大学院)

キャンパス	男性	女性	合計
白山キャンパス	11,208	9,287	20,495
川越キャンパス	3,845	842	4,687
板倉キャンパス	986	845	1,831
赤羽台キャンパス	2,282	1,723	4,005
合計	18,321	12,697	31,018

学部	専任教員数						
	教授	准教授	講師	助教	小計	助手	合計
生命科学部	21	5	2	2	30	0	30
食環境科学部	16	11	1	3	31	5	36
板倉キャンパス合計	37	16	3	5	61	5	66

学部	専任教員数						
	教授	准教授	講師	助教	小計	助手	合計
ライフデザイン学部	34	20	5	10	69	3	72
情報連携学部	19	12	2	12	45	0	45
赤羽台キャンパス合計	53	32	7	22	114	3	117

所属	専任教員数							
	教授	准教授	講師	助教	教諭	小計	助手	合計
大学院	8	3	0	0	0	11	0	11
IR室	1	0	0	0	0	1	0	1
国際教育センター	0	2	12	1	0	15	0	15
図書館事務部	0	0	0	0	1	1	0	1
情報連携学	1	0	0	0	0	1	0	1

学校名	教諭	助教諭	講師	助手	合計
東洋大学京北中学校	25	0	0	0	25
東洋大学京北高等学校	51	0	2	0	53
京北幼稚園	7	0	0	0	7
合計	251	1	5	0	257

センター利用入試・一般入試・総合問題入試・実技入試 (第1部)

学部	学科 (専攻)	志願者数	合格者数
文学部	哲学科	1,361	309
	東洋思想文化学科	1,194	367
	日本文学文化学科	2,207	504
	英米文学科	1,784	516
	史学科	2,392	641
	教育学科 (人間発達専攻)	964	377
	教育学科 (初等教育専攻)	798	269
	国際文化コミュニケーション学科	1,258	330
	文学部合計	11,958	3,313
	経済学部	経済学科	5,417
国際経済学科		1,814	617
総合政策学科		2,604	772
経済学部合計	9,835	2,759	
経営学部	経営学科	6,269	1,464
	マーケティング学科	3,384	798
経営学部合計	12,003	2,971	
法学部	法律学科	4,367	1,199
	企業法学科	2,270	798
法学部合計	6,637	1,997	
社会学部	社会学科	3,876	1,014
	国際社会学科	2,149	684
	社会福祉学科	1,994	526
	メディアコミュニケーション学科	2,569	625
	社会心理学科	2,678	580
社会学部合計	13,266	3,429	
国際学部	グローバル・イノベーション学科	1,020	260
	国際地域学科 (国際地域専攻)	2,165	750
国際学部合計	3,185	1,010	
国際観光学部	国際観光学科	3,225	781
国際観光学部合計	3,225	781	
情報連携学部	情報連携学科	4,631	1,516
情報連携学部合計	4,631	1,516	
ライフデザイン学部	生活支援学科 (生活支援学専攻)	1,060	394
	生活支援学科 (子ども支援学専攻)	966	319
	健康スポーツ学科	1,996	600
	人間環境デザイン学科	1,734	338
ライフデザイン学部合計	5,756	1,651	
理工学部	機械工学科	2,352	984
	生体医工学科	902	473
	電気電子情報工学科	2,187	724
	応用化学科	1,567	818
	都市環境デザイン学科	1,341	583
理工学部合計	10,350	4,124	
総合情報学部	総合情報学科	2,213	497
総合情報学部合計	2,213	497	
生命科学部	生命科学科	929	582
	応用生物科学科	803	635
生命科学部合計	1,732	1,217	
食環境科学部	食環境科学科 (フードサイエンス専攻)	572	333
	食環境科学科 (スポーツ食品機能専攻)	207	149
	健康栄養学科	578	311
食環境科学部合計	1,357	793	
第1部合計	86,148	26,058	

大学院 博士前期・修士課程

研究科	志願者数		合格者数	
	秋入学	4月入学	秋入学	4月入学
文学研究科	59	27	27	27
社会学研究科	108	19	19	19
法学研究科	20	10	10	10
経営学研究科	0	147	0	45
理工学研究科	1	89	1	86
経済学研究科	7	81	6	33
国際学研究科	16	9	13	6
国際観光学研究科	8	44	3	21
社会福祉学研究科	38	11	11	11
生命科学研究科	2	32	2	27
ライフデザイン学研究科	48	32	32	32
学際・融合科学研究科	0	6	0	6
総合情報学研究科	2	15	2	15
食環境科学研究科	0	9	0	8
情報連携学研究科	1	14	0	9
合計	37	719	27	355

大学院 博士後期課程

研究科	志願者数		合格者数	
	秋入学	4月入学	秋入学	4月入学
文学研究科	7	5	5	5
社会学研究科	4	1	1	1
法学研究科	2	2	2	2
経営学研究科	0	4	0	2
理工学研究科	0	2	0	2
経済学研究科	3	1	1	1
国際学研究科	2	4	2	3
国際観光学研究科	0	1	0	1
社会福祉学研究科	3	2	2	2
生命科学研究科	0	2	0	2
ライフデザイン学研究科	2	2	2	2
学際・融合科学研究科	0	0	0	0
総合情報学研究科	1	4	1	4
食環境科学研究科	0	0	0	0
情報連携学研究科	0	0	0	0
合計	3	38	3	27

附属学校等

学校名	志願者数	合格者数
附属姫路中学校	310	154
附属姫路高等学校	3,519	3,503
附属牛久中学校	195	166
附属牛久高等学校	1,744	1,333
東洋大学京北中学校	1,580	259
東洋大学京北高等学校	618	391
京北幼稚園	49	45

センター利用入試・一般入試 (第2部・イブニングコース)

学部	学科 (専攻)	志願者数	合格者数
文学部	東洋思想文化学科	203	94
	日本文学文化学科	257	102
	教育学科	305	77
第2部文学部合計	765	273	
経済学部	経済学科	623	290
第2部経済学部合計	623	290	
経営学部	経営学科	595	287
第2部経営学部合計	595	287	
法学部	法律学科	649	330
第2部法学部合計	649	330	
社会学部	社会学科	761	310
第2部社会学部合計	761	310	
国際学部	国際地域学科 (地域総合専攻)	267	183
国際学部 (イブニングコース)		267	183
第2部・イブニングコース合計	3,660	1,673	
追試験		13	0
合計		89,821	27,731

推薦入試 (AO型推薦/自己推薦/学校推薦/「独立自活」支援推薦)

学部	学科 (専攻)	推薦入試	
		志願者数	合格者数
文学部	哲学科	29	20
	東洋思想文化学科	25	19
	日本文学文化学科	22	15
	英米文学科	13	11
	教育学科 (人間発達専攻)	13	10
経済学部	経済学科	13	5
	国際経済学科	16	15
	総合政策学科	63	22
	法律学科	20	10
	企業法学科	19	11
社会学部	社会学科	31	10
	国際社会学科	6	6
	社会福祉学科	56	34
国際学部	グローバル・イノベーション学科	36	11
	国際地域学科 (国際地域専攻)	49	22
国際観光学部	国際観光学科	131	68
情報連携学部	情報連携学科	45	12
	生活支援学科 (生活支援学専攻)	46	32
	生活支援学科 (子ども支援学専攻)	61	27
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	76	18
	人間環境デザイン学科	34	22
理工学部	機械工学科	3	3
	生体医工学科	2	2
	応用化学科	1	1



就職データ (2020年度実績) Employment Data

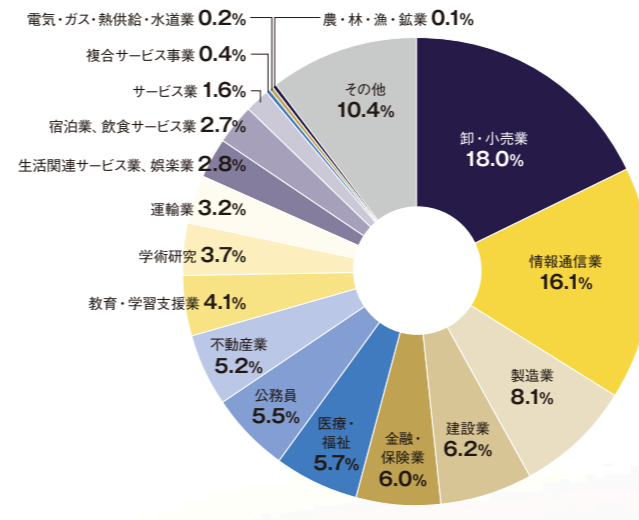
学部別進路状況 (学部第1部)

学部	性別	就職率	就職希望率	進学率	進路決定率
文学部	男	94.9%	68.6%	6.8%	75.3%
	女	98.7%	83.8%	1.8%	85.7%
	計	97.5%	78.5%	3.6%	82.0%
経済学部	男	97.4%	82.2%	3.0%	85.2%
	女	97.8%	86.5%	2.4%	88.9%
	計	97.5%	83.5%	2.8%	86.4%
経営学部	男	98.8%	84.5%	2.1%	86.6%
	女	98.3%	87.3%	3.1%	90.3%
	計	98.6%	85.6%	2.5%	88.1%
法学部	男	98.6%	82.4%	2.6%	85.0%
	女	97.9%	81.5%	5.2%	86.7%
	計	98.4%	82.1%	3.5%	85.6%
社会学部	男	97.2%	84.6%	2.1%	86.6%
	女	98.2%	85.3%	2.1%	87.4%
	計	97.9%	85.1%	2.1%	87.1%
国際学部	男	94.2%	74.7%	6.9%	81.6%
	女	97.1%	79.8%	5.4%	85.1%
	計	96.1%	78.0%	5.9%	83.9%
国際観光学部	男	100.0%	89.0%	4.4%	93.4%
	女	99.2%	90.4%	1.8%	92.3%
	計	99.4%	90.1%	2.5%	92.5%

就職率 = 就職者数 ÷ 就職希望者数 (就職者数 + 卒業時点で就職活動中の者) × 100
 就職希望率 = 就職者数 ÷ 卒業生数 × 100
 進学率 = 進学者数 ÷ 卒業生数 × 100
 進路決定率 = (就職者数 + 進学者数) ÷ 卒業生数 × 100
 ※学部名については卒業生在籍時の名称を適用

学部	性別	就職率	就職希望率	進学率	進路決定率
ライフデザイン学部	男	96.2%	85.1%	3.7%	88.8%
	女	96.4%	86.6%	3.3%	89.8%
	計	96.3%	85.9%	3.5%	89.4%
理工学部	男	96.8%	77.1%	16.2%	93.3%
	女	98.1%	76.1%	18.1%	94.2%
	計	97.0%	76.9%	16.6%	93.5%
総合情報学部	男	95.2%	75.3%	2.7%	78.0%
	女	98.4%	79.2%	9.1%	88.3%
	計	96.2%	76.4%	4.6%	81.0%
生命科学部	男	92.9%	68.1%	17.2%	85.3%
	女	98.3%	81.4%	14.3%	95.7%
	計	95.1%	73.1%	16.1%	89.2%
食環境科学部	男	97.1%	83.5%	5.1%	88.6%
	女	99.2%	92.9%	3.9%	96.9%
	計	98.4%	89.3%	4.4%	93.7%
情報連携学部	男	97.6%	81.4%	4.4%	85.8%
	女	98.6%	88.5%	1.3%	89.7%
	計	97.9%	83.3%	3.5%	86.9%
合計	男	97.0%	79.9%	6.2%	86.1%
	女	98.2%	84.9%	3.9%	88.8%
	計	97.6%	82.2%	5.1%	87.4%

業種別就職状況 (学部第1部)



Uターンエリア別就職状況 (学部第1部・第2部合計)

出身都道府県	Uターン就職者数	就職者数
北海道	12	64
青森	1	18
岩手	4	23
宮城	3	26
秋田	4	32
山形	11	27
福島	7	86
茨城	75	326
栃木	34	155
群馬	33	136
埼玉	266	1,293
千葉	142	876
東京	1,033	1,330
神奈川	77	456
新潟	30	137
富山	12	34
石川	5	21
福井	2	10
山梨	5	27
長野	32	112
岐阜	2	14
静岡	27	107
愛知	7	39
三重	0	4
滋賀	1	3
京都	1	6
大阪	4	17
兵庫	2	27
奈良	0	3
和歌山	1	3
鳥取	1	2
島根	1	3
岡山	1	8
広島	1	26
山口	1	6
徳島	2	4
香川	0	5
愛媛	2	9
高知	3	10
福岡	5	20
佐賀	0	3
長崎	1	12
熊本	4	13
大分	1	4
宮崎	2	10
鹿児島	0	5
沖縄	2	14
留学生	4	98
合計	1,864	5,664

■就職者数：出身地別の就職した卒業生数
 ■Uターン就職者数：就職者のうち、出身地に本社がある企業へ就職した卒業生数
 ※本社所在地と勤務地は異なる場合があります。

主な就職先

学部	主な就職先
【第1部文学部】 東京都教育委員会 埼玉県教育委員会 (株)ベネッセスタイルケア 千葉県教育委員会 茨城県教育委員会 横浜市教育委員会 東京都庁 文京区役所 (株)新潮社 (株)NTTドコモ	【第1部社会学部】 日本年金機構 (株)ベネッセスタイルケア (株)ニトリホールディングス 千葉銀行 中央労働金庫 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本) (株)りそな銀行 エーザイ(株) (株)ゼンリン 東日本電信電話(株)(NTT東日本)
【第1部経済学部】 さいたま市役所 東京国税局 日本年金機構 (株)TKC (株)きらぼし銀行 (株)システナ (株)NTTドコモ 国土交通省 アマゾンジャパン(同) YKKAP(株)	【第1部国際学部】 楽天グループ(株) (株)TBSスパークル べんてる(株) 星野リゾートグループ 積水ハウス(株) 川崎市役所 船橋市役所 東京地下鉄(株)(東京メトロ) (株)ニトリホールディングス (株)ロッテ
【第1部経営学部】 (株)千葉銀行 中央労働金庫 日本通運(株) 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本) (株)京葉銀行 東京国税局 葛飾区役所 富士通(株) (株)船井総合研究所 Apple Japan(同)	【第1部国際観光学部】 フォーシーズンズホテル東京大手町 (株)共立メンテナンス リゾートトラスト(株) 東武トップツアーズ(株) 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本) (株)りそな銀行 (株)NTTデータ (株)オリエンタルランド (株)JT B 環境省
【第1部法学部】 警視庁 埼玉県庁 東京消防庁 板橋区役所 東京地下鉄(株)(東京メトロ) さいたま市役所 東京国税局 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本) (株)千葉興業銀行 千葉地方裁判所	【生命科学部】 (株)日立プラントサービス フタバ食品(株) フジパルグループ本社(株) 山崎製パン(株) 科研製薬(株) 合同酒精(株) 水ing(株) 長谷川香料(株) 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会
【第1部理学部】 警視庁 埼玉県庁 東京消防庁 板橋区役所 東京地下鉄(株)(東京メトロ) さいたま市役所 東京国税局 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本) (株)千葉興業銀行 千葉地方裁判所	【情報連携学部】 富士ソフト(株) (株)NTTデータ・ニューソン (株)JR東日本情報システム (株)ドコモCS 戸田建設(株) (株)コーエーテックモホールディングス シャープマーケティングジャパン(株) トレンドマイクロ(株) 小田急電鉄(株) 日本アイ・ビー・エム(株)
【第1部環境科学部】 警視庁 埼玉県庁 東京消防庁 板橋区役所 東京地下鉄(株)(東京メトロ) さいたま市役所 東京国税局 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本) (株)千葉興業銀行 千葉地方裁判所	【第1部全学部】 東京都教育委員会 (株)ベネッセスタイルケア 埼玉県教育委員会 警視庁 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本) 山崎製パン(株) 富士ソフト(株) 東京消防庁 さいたま市役所 千葉県教育委員会
【第1部工学部】 大和ハウス工業(株) 埼玉県教育委員会 大成建設(株) (株)一条工務店 東海旅客鉄道(株)(JR東海) 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本) (株)SUBARU キャノンITソリューションズ(株) ファンケルグループ 三菱マテリアル(株)	【第2部全学部】 イオンリテール(株) 東京都教育委員会 東京国税局 (株)ベネッセスタイルケア 北区役所 東日本電信電話(株)(NTT東日本) 千葉県庁 星野リゾートグループ 山崎製パン(株) 日本年金機構
【第1部国際観光学部】 警視庁 埼玉県庁 東京消防庁 板橋区役所 東京地下鉄(株)(東京メトロ) さいたま市役所 東京国税局 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本) (株)千葉興業銀行 千葉地方裁判所	【食環境科学部】 (株)LEOC (株)グリーンハウス (株)資生堂 山崎製パン(株) 正田醤油(株) 日本食研(株) エムサービスジャパン(株) 日清医療食品(株) (一財)食品環境検査協会 厚生労働省

教育職員免許状申請状況 (2021年3月1日現在)

白山キャンパス

学部	申請者数	小1種	中1種			高1種							特支1種	教科計	
			国語	社会	英語	国語	書道	地歴	公民	商業	英語	福祉			情報
第1部	137	33	22	53	22	25	2	55	50	0	22	0	0	29	313
第2部	18	0	8	9	0	9	0	7	6	0	0	0	0	0	39
合計	155	33	30	62	22	34	2	62	56	0	22	0	0	29	352

朝霞キャンパス

学部	申請者数	幼1種	養1種	中1種			高1種			教科計	
ライフデザイン学部	132	78	8	保健	保健体育	工業	工業	福祉			
ライフデザイン学部	132	78	8	2	45	2	47	3	1	0	186

川越キャンパス

学部	申請者数	中1種		高1種			教科計
理工学部	31	数学	理科	数学	理科	情報	
理工学部	31	6	20	6	23	0	58
総合情報学部	0	0	0	0	0	0	0
川越キャンパス 合計	31	6	20	6	23	0	58

専修免許状

研究科	申請者数	小専修	中専修							高専修					特支専修	教科計		
			国語	社会	英語	数学	理科	宗教	国語	地歴	公民	英語	数学	理科			宗教	工業
文学研究科	5	1	0	2	2	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	10
経済学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経営学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際地域学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理工学研究科	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4	
生命科学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専修免許状 合計	7	1	0	2	2	0	2	0	0	0	1	2	2	0	0	0	14	

板倉キャンパス

学部	申請者数	中1種	高1種	教科計
生命科学部	23	23	23	46
食環境科学部	10	9	10	19
板倉キャンパス 合計	33	32	33	65

教育職員免許状
申請者数 合計

399名



国際交流データ International Exchange Data

留学生数・留学者数

派遣留学者数 (中途帰国者を含む)

プログラム名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
交換留学(派遣)	69	74	152	155	12
認定留学	10	11	25	18	4
協定校語学留学	52	103	180	179	36
語学セミナー*	123	116	156	180	57
合計	254	304	513	532	109

*国際教育センター主催のプログラムのみを対象
*2020年度は新型コロナウイルスの影響によりオンラインで実施

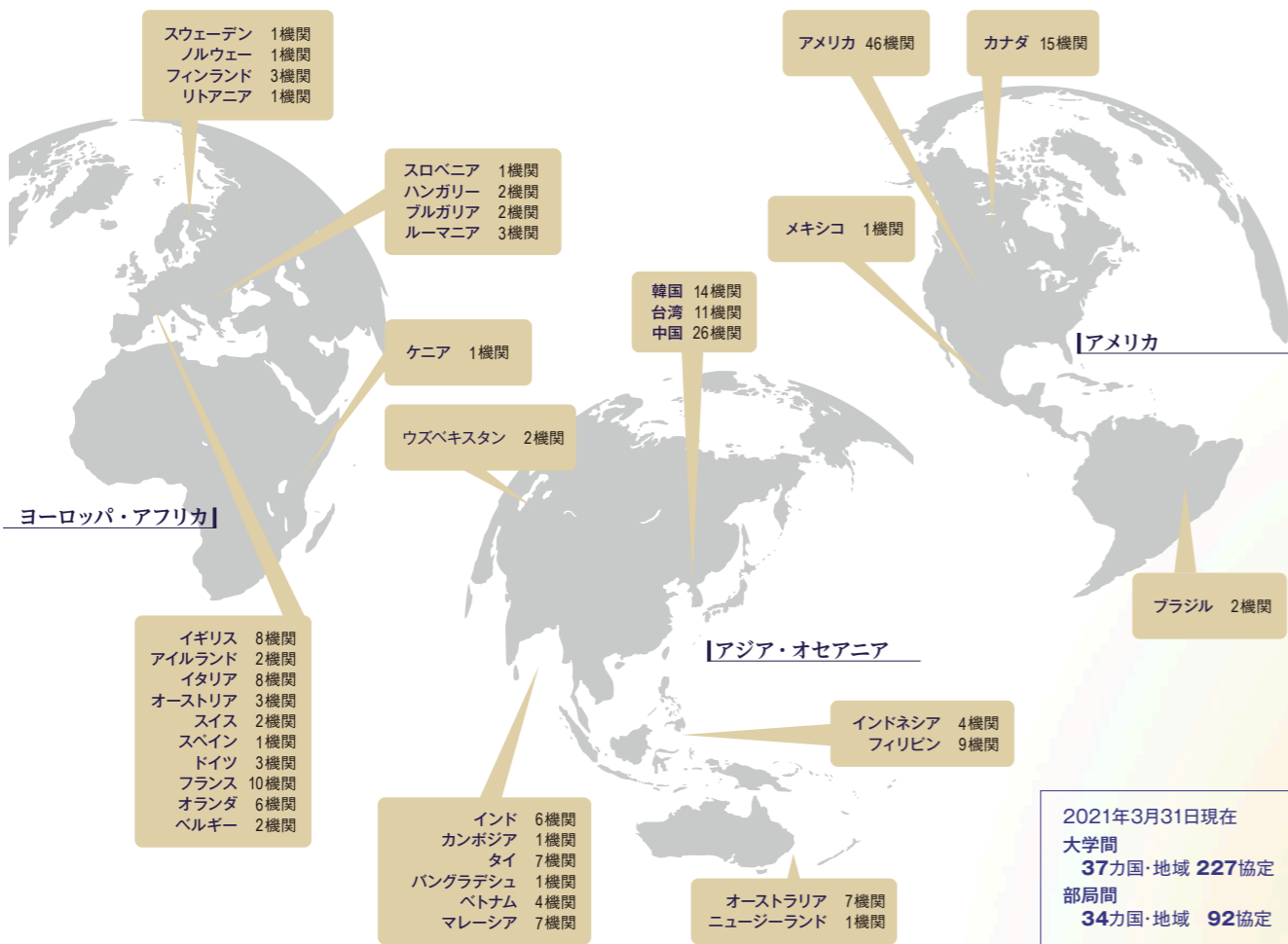
受入留学者数

プログラム名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
交換留学(受入)	89	85	132	194	4

国費留学生受入数(延べ人数)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
大学院	22	25	22	24	15

大学間海外協定先等一覧 (2021年3月31日現在)



出身国別留学者数 (2020年5月1日現在)

掲載データは本書発行時期における最新の集計結果を掲載しております。発行後に更新される情報は本書Webサイトでご確認ください。

アメリカ 学部合計1 大学院合計2 総合計3	アルメニア共和国 学部合計1 大学院合計1 総合計2	イギリス 学部合計1 大学院合計1 総合計2	イタリア 学部合計2 大学院合計3 総合計5	インド 学部合計2 大学院合計2 総合計4	インドネシア 学部合計21 大学院合計12 総合計33	ウズベキスタン 学部合計7 大学院合計7 総合計14	オランダ 学部合計1 大学院合計1 総合計2
カナダ 学部合計3 大学院合計4 総合計7	韓国 学部合計83 大学院合計87 総合計170	カンボジア 学部合計1 大学院合計9 総合計10	キルギス 学部合計1 大学院合計2 総合計3	ケニア 学部合計1 大学院合計1 総合計2	コートジボワール 学部合計1 大学院合計1 総合計2	サウジアラビア 学部合計1 大学院合計1 総合計2	ザンビア 学部合計1 大学院合計2 総合計3
シンガポール 学部合計1 大学院合計1 総合計2	スイス 学部合計1 大学院合計1 総合計2	スペイン 学部合計1 大学院合計1 総合計2	スリランカ 学部合計3 大学院合計4 総合計7	スロベニア 学部合計1 大学院合計1 総合計2	タイ 学部合計15 大学院合計16 総合計31	台湾 学部合計15 大学院合計15 総合計30	中国 学部合計1014 大学院合計200 総合計1214
チュニジア 学部合計1 大学院合計1 総合計2	ドイツ 学部合計1 大学院合計1 総合計2	トルコ 学部合計1 大学院合計1 総合計2	トンガ王国 学部合計1 大学院合計1 総合計2	ナイジェリア 学部合計1 大学院合計1 総合計2	ニュージーランド 学部合計1 大学院合計1 総合計2	ネパール 学部合計4 大学院合計5 総合計9	パキスタン 学部合計2 大学院合計2 総合計4
バングラデシュ 学部合計3 大学院合計4 総合計7	フィリピン 学部合計12 大学院合計12 総合計24	ブラジル 学部合計1 大学院合計2 総合計3	フランス 学部合計2 大学院合計2 総合計4	ブルガリア 学部合計6 大学院合計6 総合計12	ベトナム 学部合計110 大学院合計2 総合計112	ポーランド 学部合計1 大学院合計1 総合計2	マダガスカル共和国 学部合計1 大学院合計1 総合計2
マラウイ 学部合計1 大学院合計1 総合計2	マレーシア 学部合計21 大学院合計21 総合計42	南アフリカ 学部合計1 大学院合計1 総合計2	ミャンマー 学部合計19 大学院合計20 総合計39	メキシコ 学部合計1 大学院合計1 総合計2	モザンビーク 学部合計1 大学院合計1 総合計2	モロッコ 学部合計1 大学院合計2 総合計3	モンゴル 学部合計15 大学院合計2 総合計17
ルワンダ 学部合計1 大学院合計1 総合計2	ロシア 学部合計1 大学院合計1 総合計2						

学部(第1部)合計1,379名 大学院合計240名 総計1,619名



研究データ / 図書館データ Research Data / Library Data

研究データ

科学研究費助成事業の保有件数
および保有金額

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
保有件数	216	211	207	221
保有金額 (単位:千円)	329,024	336,744	318,498	343,748

科学研究費新規応募採択状況(第1回交付内定時)

2017年度			2018年度			2019年度			2020年度		
申請数	採択数	採択率	申請数	採択数	採択率	申請数	採択数	採択率	申請数	採択数	採択率
219	58	26.5%	214	47	22.0%	247	67	27.1%	196	62	31.6%

外部資金による研究件数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
科学研究費助成事業	187	216	211	207	221
共同研究・受託研究	59	74	77	78	79
奨学寄付金・助成金等	46	38	40	39	28
合計	292	328	328	324	328

外部資金による研究費

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
科学研究費助成事業	320,281	329,024	336,744	318,498	343,748
共同研究・受託研究	163,801	137,338	151,196	150,598	306,373
奨学寄付金・助成金等	41,605	37,618	151,125	176,950	80,846
合計	525,687	503,980	639,065	646,046	730,967

学位授与状況(2020年4月1日~2021年3月31日授与)

	9月修了		3月修了		博士(論文)	合計
	修士	博士(課程)	修士	博士(課程)		
文学研究科	2	2	24	5	0	33
社会学研究科	0	0	12	1	0	13
法学研究科	0	0	7	0	0	7
経営学研究科	1	0	30	0	0	31
理工学研究科	2	1	55	2	0	60
工学研究科		0		1	0	1
経済学研究科	2	0	30	0	0	32
国際学研究科	5	0	3	1	0	9
国際観光学研究科	3	0	5	0	0	8
国際地域学研究科	0	0	0	0	0	0
生命科学研究科	2	0	20	2	0	24
社会福祉学研究科	0	0	11	0	0	11
ライフデザイン学研究科	0	0	11	0	0	11
福祉社会デザイン研究科	0	0	1	2	0	3
学際・融合科学研究科	0	2	10	1	0	13
総合情報学研究科	2	0	6	1	0	9
食環境科学研究科	0		5	3	0	8
情報連携学研究科	0		1			1
合計	19	5	231	19	0	274

発明届出数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
発明届出数	12	20	23	22	16

特許出願件数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
単独出願	8	11	13	13	8
共同出願	3	5	7	3	6
合計	11	16	20	16	14

知的財産実施許諾等

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
件数	3	9	7	8	6
金額(単位:千円)	472	1,918	1,780	1,924	700

図書館データ

図書所蔵数(2021年3月31日現在)

	和書	洋書	合計
白山図書館	760,438	246,761	1,007,199
川越図書館	149,199	60,490	209,689
朝霞図書館	256,577	24,263	280,840
板倉図書館	69,315	10,881	80,196

雑誌所蔵タイトル数(2021年3月31日現在)

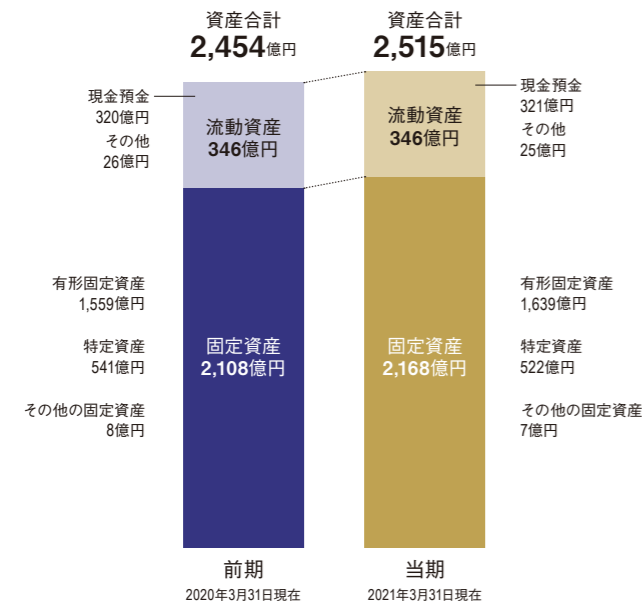
	和雑誌	洋雑誌	合計
白山図書館	7,750	3,348	11,098
川越図書館	1,194	1,453	2,647
朝霞図書館	1,616	466	2,082
板倉図書館	331	184	515

入館者数(2020年度開館日)

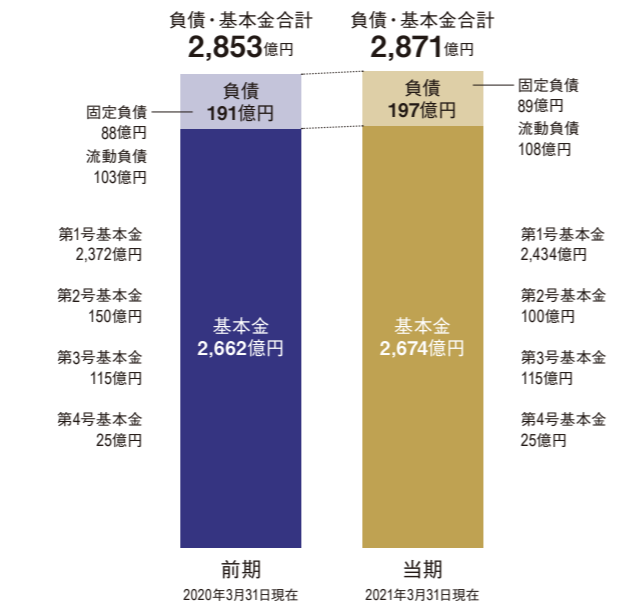
	開館日数	延べ入館者数
白山図書館	204	26,103
川越図書館	204	8,014
朝霞図書館	158	2,960
板倉図書館	210	7,137

2020年度 決算 貸借対照表および事業活動収支計算書のレビューをWebでご覧いただけます。
<https://www.toyo.ac.jp/toyo2020/economy/>

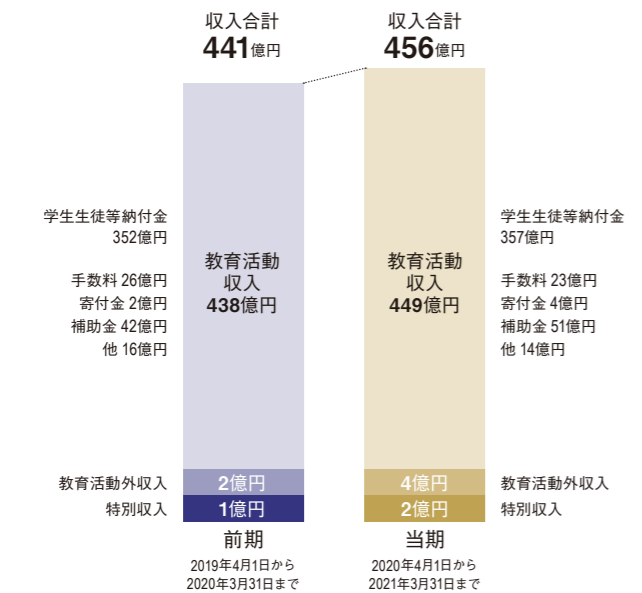
資産の状況



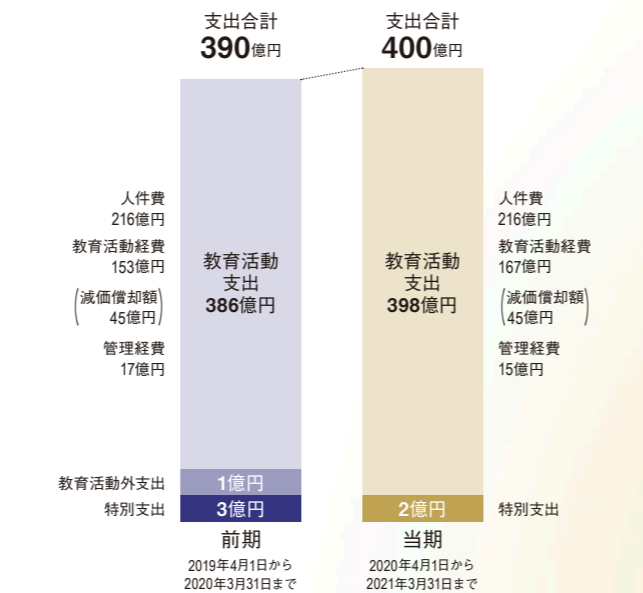
負債・基本金の状況



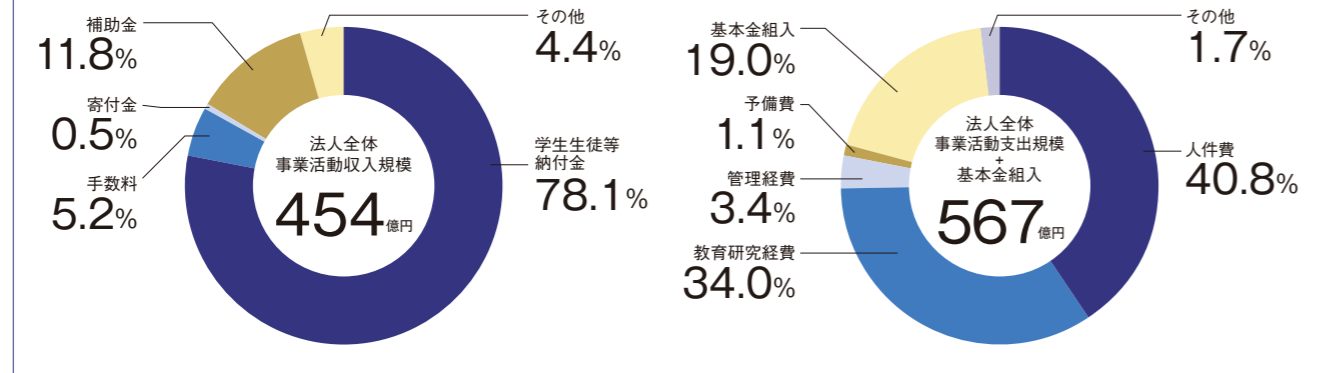
事業活動収入の状況



事業活動支出の状況



2021年度 予算規模



資金収支計算書

一事業年度における現金預金の収入および支出の一覧です。

収入の部 (単位: 百万円)

科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
学生生徒等納付金収入	33,311	34,641	35,173	35,168	35,719
手数料収入	2,610	2,836	2,920	2,596	2,257
寄付金収入	121	121	187	224	366
補助金収入	3,622	3,570	4,198	4,238	5,277
資産売却収入	0	0	32,649	0	322
付随事業・収益事業収入	661	674	787	831	568
受取利息・配当金収入	391	505	308	166	336
雑収入	796	674	966	792	901
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	8,864	8,491	8,170	8,161	7,894
その他の収入	8,788	1,849	11,324	6,532	7,791
資金収支調整勘定	△ 9,044	△ 9,485	△ 10,399	△ 9,761	△ 9,835
前年度繰越支払資金	26,553	23,705	25,381	29,675	32,006
収入の部合計	76,673	67,580	111,664	78,623	83,603

支出の部 (単位: 百万円)

科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
人件費支出	20,053	20,755	21,554	21,475	21,502
教育研究経費支出	9,051	9,692	9,868	10,885	12,164
管理経費支出	1,682	1,590	1,528	1,809	1,483
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	7,804	1,510	9,553	7,284	10,650
設備関係支出	2,282	1,124	1,152	1,525	1,894
資産運用支出	10,767	7,458	37,366	2,422	3,587
その他の支出	2,653	2,166	2,850	2,651	2,400
資金収支調整勘定	△ 1,323	△ 2,097	△ 1,882	△ 1,435	△ 2,170
翌年度繰越支払資金	23,705	25,381	29,675	32,006	32,093
支出の部合計	76,673	67,580	111,664	78,623	83,603

活動区分資金収支計算書

活動区分ごとの現金預金の収支の明細です。

(単位: 百万円)

科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	41,056	42,473	44,087	43,784	44,874
教育活動資金支出計	30,761	31,921	32,930	34,014	35,148
差引	10,295	10,552	11,157	9,770	9,726
調整勘定等	482	4	△ 1,578	215	△ 150
教育活動資金収支差額	10,776	10,556	9,579	9,985	9,576
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	6,200	33	9,443	3,585	5,273
施設整備等活動資金支出計	15,227	9,738	21,805	10,859	15,684
差引	△ 9,028	△ 9,705	△ 12,362	△ 7,274	△ 10,412
調整勘定等	206	546	△ 239	△ 415	564
施設整備等活動資金収支差額	△ 8,822	△ 9,159	△ 12,601	△ 7,689	△ 9,847
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	1,954	1,397	△ 3,022	2,296	△ 271
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	2,237	1,563	34,333	1,287	1,787
その他の活動資金支出計	7,051	1,288	27,023	1,321	1,455
差引	△ 4,814	274	7,310	△ 33	332
調整勘定等	11	5	6	69	26
その他の活動資金収支差額	△ 4,802	280	7,316	36	358
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 2,848	1,677	4,294	2,331	87
前年度繰越支払資金	26,553	23,705	25,381	29,675	32,006
翌年度繰越支払資金	23,705	25,381	29,675	32,006	32,093

事業活動収支計算書

経営状況や財政状態を正しく理解でき、「教育の持続性」に対する判断に役立ちます。

(単位: 百万円)

科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
事業活動収入の部					
学生生徒等納付金	33,311	34,641	35,173	35,168	35,719
手数料	2,610	2,836	2,920	2,596	2,257
寄付金	132	124	196	231	388
経常費等補助金	3,605	3,548	4,152	4,182	5,138
付随事業収入	661	674	787	831	568
資産売却差額	0	0	0	0	0
雑収入	765	665	876	803	836
教育活動収入計	41,084	42,487	44,104	43,810	44,906
事業活動支出の部					
人件費	20,120	20,781	21,539	21,560	21,599
教育研究経費	13,641	14,560	14,689	15,359	16,662
管理経費	1,722	1,537	1,563	1,702	1,529
徴収不能額等	0	0	0	0	0
教育活動支出計	35,483	36,879	37,791	38,621	39,789
教育活動収支差額	5,601	5,608	6,313	5,189	5,118
事業活動収入の部					
受取利息・配当金	391	505	308	166	336
その他の教育活動外収入	40	9	90	0	56
教育活動外収入計	430	514	397	166	392
事業活動支出の部					
借入金等利息	0	0	0	0	0
その他の教育活動外支出	24	116	16	90	0
教育活動外支出計	24	116	16	90	0
教育活動外収支差額	406	398	381	76	392
経常収支差額	6,007	6,006	6,694	5,265	5,509
事業活動収入の部					
資産売却差額	0	0	2,270	0	4
その他の特別収入	106	69	90	106	213
特別収入計	106	69	2,360	106	217
事業活動支出の部					
資産処分差額	271	207	595	205	205
その他の特別支出	0	1	9	69	0
特別支出計	272	209	604	274	205
特別収支差額	△ 166	△ 140	1,756	△ 168	12
基本金組入前当年度収支差額	5,841	5,866	8,450	5,097	5,521
基本金組入額合計	△ 5,924	△ 4,476	△ 11,468	△ 7,740	△ 1,275
当年度収支差額	△ 83	1,390	△ 3,018	△ 2,644	4,246
前年度繰越収支差額	△ 35,579	△ 35,662	△ 34,266	△ 37,284	△ 39,928
基本金取崩額	0	6	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 35,662	△ 34,266	△ 37,284	△ 39,928	△ 35,682

(参考)

事業活動収入計	41,620	43,069	46,861	44,083	45,515
事業活動支出計	35,779	37,203	38,410	38,986	39,994

貸借対照表

「学校法人の体力(財務状況・安全性)」を把握することができます。

(単位:百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
固定資産	196,050	200,752	208,037	210,768	216,818
流動資産	30,289	31,862	32,620	34,628	34,649
資産の部合計	226,340	232,614	240,657	245,396	251,467
固定負債	8,783	8,809	8,762	8,842	8,938
流動負債	10,739	11,120	10,759	10,322	10,777
負債の部合計	19,521	19,929	19,522	19,164	19,715
基本金	242,481	246,951	258,419	266,160	267,435
繰越収支差額	△ 35,662	△ 34,266	△ 37,284	△ 39,928	△ 35,682
純資産の部合計	206,818	212,685	221,135	226,232	231,753
負債および純資産の部合計	226,340	232,614	240,657	245,396	251,467

財務指標

経営成績や財政状態を数値化することで、学校法人としての「安全性」や「成長性」を読み取ることができます。

主な財務比率比較

(単位:%)

比率名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
事業活動収支差額比率 [基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入]	14.0	13.6	18.0	11.6	12.1
基本金組入後収支比率 [事業活動支出/(事業活動収入-基本金組入額)]	100.2	96.4	108.5	107.3	90.4
学生生徒等納付金比率 [学生生徒等納付金/経常収入]	80.2	80.6	79.0	80.0	78.9
人件費比率 [人件費/経常収入]	48.5	48.3	48.4	49.0	47.7
教育研究経費比率 [教育研究経費/経常収入]	32.9	33.9	33.0	34.9	36.8
管理経費比率 [管理経費/経常収入]	4.1	3.6	3.5	3.9	3.4
流動比率 [流動資産/流動負債]	282.1	286.5	303.2	335.5	321.5
負債比率 [総負債/純資産]	9.4	9.4	8.8	8.5	8.5
純資産構成比率 [純資産/(総負債+純資産)]	91.4	91.4	91.9	92.2	92.2
基本金比率 [基本金/基本金要組入額]	99.9	99.7	99.8	99.9	99.7
教育活動資金収支差額比率 [教育活動資金収支差額/教育活動資金収入計]	26.2	24.9	21.7	22.8	21.3

※[経常収入] = 教育活動収入計 + 教育活動外収入計

寄付金状況

寄付金の種類	2020年度	
	金額	摘要
特別寄附金	344,314千円	2,263件
奨学寄付金	34,135千円	16件
教育・研究協力資金	143,717千円	2,121件
教育・研究協力資金(施設)	9,158千円	54件
その他の特別寄付金	157,304千円	72件
古本募金	430千円	62件
その他	156,874千円	10件
一般寄付金	21,500千円	3件
現物寄付金	83,699千円	790件
合計	449,513千円	3,056件

補助金状況

(単位:千円)

補助金の種類	2020年度補助金額
国庫からの補助金	3,736,658
私立大学等経常費補助金	2,391,098
一般補助	2,209,380
特別補助	181,718
成長力強化に貢献する質の高い教育	12,160
大学等の国際交流の基盤整備	56,640
大学院等の機能の高度化	112,918
私立学校施設整備費補助金・私立大学等研究設備整備費等補助金	105,741
国際化拠点整備事業費補助金(スーパーグローバル大学創成支援)	50,557
研究拠点形成費等補助金(Society5.0に対応した高度技術人材育成事業)	33,707
大学改革推進等補助金(デジタル活用教育高度化事業)	94,249
大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免交付金	1,031,849
その他の補助金	29,457
地方公共団体等からの補助金	1,540,472
私立学校経常費補助金	1,422,269
授業料軽減補助金・入学金軽減補助金	75,135
その他の補助金	43,068
合計	5,277,130

キャンパス・施設

白山キャンパス Hakusan Campus



文学部/経済学部/経営学部/法学部/社会学部/国際学部/国際観光学部/
文学研究科/社会学研究科/法学研究科/経営学研究科/経済学研究科/
国際学研究科/国際観光学研究科/社会学研究科
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 TEL. 03-3945-7224
5-28-20 Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo

赤羽台キャンパス Akabanedai Campus



情報連携学部/ライフデザイン学部/
情報連携学研究科/ライフデザイン学研究科
〒115-8650 東京都北区赤羽台1-7-11 TEL. 03-5924-2100
1-7-11 Akabanedai, Kita-ku, Tokyo

板倉キャンパス Itakura Campus



生命科学部/食環境科学部/
生命科学研究科/食環境科学研究科
〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1 TEL. 0276-82-9111
1-1-1 Izumino, Itakura-machi, Oura-gun, Gunma

川越キャンパス Kawagoe Campus



理工学部/総合情報学部/
理工学研究科/学際・融合科学研究科/総合情報学研究科
〒350-8585 埼玉県川越市鯉井2100 TEL. 049-239-1300
2100 Kujirai, Kawagoe-shi, Saitama

朝霞キャンパス Asaka Campus

※朝霞キャンパスは2024年4月より使用予定です
〒351-8510 埼玉県朝霞市岡48-1
48-1 Oka, Asaka-shi, Saitama

大手町サテライト Otemachi Satellite

経済学研究科(公民連携専攻)
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル1F TEL. 03-3231-1021
1F New Otemachi Building, 2-2-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo

附属学校等

東洋大学附属
姫路中学校・高等学校

Toyo University Himeji Junior and Senior High School
〒671-2201 兵庫県姫路市書写1699
TEL. 079-266-2626
1699 Shosha, Himeji-shi, Hyogo

東洋大学附属
牛久中学校・高等学校

Toyo University Ushiku Junior and Senior High School
〒300-1211 茨城県牛久市柏田町1360-2
TEL. 029-872-0350
1360-2 Kashiwadacho, Ushiku-shi, Ibaraki

東洋大学
京北中学高等学校

Toyo University Keihoku Junior and Senior High School
〒112-8607 東京都文京区白山2-36-5
TEL. 03-3816-6211
2-36-5 Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo

京北幼稚園

Keihoku Kindergarten
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-13-5
TEL. 03-3941-7090
2-13-5 Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo